

令和6年度

試験名:個別学力検査等(後期日程)

【人間学群 障害科学類】

区 分	標準的な解答例又は出題意図
「論述」問題	<p>1. 問題文の選定・出題理由</p> <p>本論述問題では、障害科学に関連する日本語の文章を読ませ、内容に関連した質問に文章で解答させ、受験生の応答性、論理性などを評価するものとした。</p> <p>今回は、NHKのWebページに掲載されている「ヘルプマークをつけて外出してみたら」を題材として取り上げ、一部改変して用いた。ヘルプマークは、外見では分かりにくい病気や障害がある人たちが、周りの人から理解や援助を求めやすくするために東京都によって作成されたもので、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けてJISの「案内用図記号」として登録され、PRされてきたものである。本文では、2018年までのヘルプマークの全国への導入の広がりと一般の認知度が説明されている。</p> <p>問1では、この文章にある「外見では分かりにくい病気や障害」にはどのようなものがあるか、受験生が知っている病気や障害のうちから、二つを取り上げ、説明させることで、質問への応答性を評価することとした。問2では、「病気や障害がある人たちが、周りの人から理解や援助を求めるために、あなたにはどのような貢献ができると考えますか」と受験生に問い、受験生の考えを説明させることで、論理的に思考し、発言する能力を論理性として評価することとした。</p> <p>2. 採点要領</p> <p>(1) 試験問題は60分。</p> <p>(2) 2問の問題ならびに標準的な解答は以下のとおり。</p> <p>問1. この文章にある「外見では分かりにくい病気や障害」にはどのようなものがあるか、二つを取り上げ、説明しなさい。</p> <p>心臓など、内臓の病気を抱えている人は、その多くが外見から判断できず、病気のために疲れやすかったり長く歩いていられなかったりして、電車やバスの車内などで座っているときに、お年寄りや妊娠している人に席を譲るよう言われるかもしれない。また、発達障害、たとえば自閉症の子どもが落ち着かなかったり不安になったりして走り回ったり、声を出したりしたことに対して、お母さんやお父さんに静かにさせるよう言われたりすることがあるとも聞いたことがある。このような人たちにとってこの文章で取り上げられているヘルプマークは助けになるものだと考える。(262字)</p> <p>問2. 病気や障害がある人たちが、周りの人から理解や援助を求めるために、あなたにはどのような貢献ができると考えますか。あなたの考えを述べなさい。</p> <p>世の中に理解や援助を求める人たちがいることは、多くの人たちにとって分かっているとしても、具体的にどんな理解や援助が必要なのかが分からないとも考えられる。そのため私は、障害や病気について専門的に学び、学んだことをより多くの人たちに知らせたいと考え、障害科学を志したいと考えている。問題文にあったヘルプマークも、広まりつつあるとはいえ知名度はまだまだだと述べられていた。このような仕組みを含め、社会全体が理解を深められるようになるためには、行政や団体の活動が広がっていくこととともに、子どもを中心に教育を通じた理解啓発の中で、目に見えない病気や障害があつて、そのために社会生活に制限がある人たちがいることを知ってもらうことが重要だと考える。この点で私は、障害科学について学び、それを活かす仕事として教師になることを目指したい。小学校や中学校、高等学校や特別支援学校、フリースクールなどさまざまな学びの場があり、教師としてどこに関わり、どのような対象のサポートができるようになるかはわからないが、少なくとも理解や支援の必要な人がヘルプマークを知っていても利用したくない、と考えることのない社会に向かうために役立てる立場になりたいと思う。(514字)</p>